

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要							
事業開始年度			昭和57年度				
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまじづくり	根拠法令・規程等	備前市立日生市民会館設置条例	
	中項目	基本施策	02	生きがいのあるまちづくり	問	担当課(室)	中央公民館・日生市民会館
	小項目	施策	04	公民館	合	職・氏名	植田 学
事務事業名			02	市民会館管理運営事業	先	電話	0869-72-1006
					このシート作成に要した時間	7.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	文化協会会員等文化事業での利用、会議・研修会等での貸館利用する人及び市の行事や各種団体利用。	
目的(何のために)	文化や教養にふれて生きがいを感じるための場所と機会を提供すること及び各種会議、集会等で使用したい人々にその場所を提供することなどを目的とする。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	文化協会等文化団体の活動利用者の減少防止と文化団体の育成。	

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
	細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するために実施した事業	市民会館管理運営事業	市民会館の各施設(ホール、約1、2・3階会議室、講座室、音楽室、調理実習室等)をいつでも利用できる状態に管理して整えておき、利用者に快適に利用していただく。平成22年度の利用者は約17,000人でその内、約4,600人が有料利用となっている。	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		8,901	12,900	19,353	
	必要人員(人件費)	千円	0.94人	9,341	1.03人	10,096
	事業費		18,242	22,996	29,341	
	国県支出金					
	受益者負担		1,009	655	623	
	繰入金	千円				
	その他(一般財源)		78	80	83	
受益者負担比率	%	5.5%	2.8%	2.1%		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	結果指標量	事業	19,688	18,670	17,232	
	対前年比	%	78.9%	94.8%	92.3%	
	活動コスト	円	18,242,000	23,935,000	28,331,000	
	単位当たりコスト		927	1,282	1,644	

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
年間施設利用者数	目標値(A)	23,000	25,000	20,000	20,000
	実績値(B)	19,668	18,670	17,232	到達目標値
	達成率(B/A)	85.51%	74.68%	86.16%	90%
成果指標設定の考え方・式や説明					
市民会館の利用上状況を表すには、年度ごとの利用者数が最適であると考えられ、成果指標とした。最近の傾向はなだらかに下降している。					

Check

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い			妥当性評価 <A~E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている			効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			有効性評価 <A~E> C
	市民参画度				

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら効率性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	日生地区の住民にとって重要な施設のため施設は引き続き維持管理していくことになるが、老朽化に伴う修繕を効果的に実施することと、受益者負担の公平化を図るための減免の見直しを検討している。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い		
条例、規則を改正して、適正な受益者負担を徴収できるようにして、維持管理費を最小限におさえることができればベストだが、努力しているがいまだに実現していない。	評価区分 <A~E> C	妥当性 		

Action

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	当面は現状維持とし、維持管理費を最小限におさえるために将来的に類似施設の統廃合が実施されれば廃止となる事が予測されるので、少しでも長く施設を維持できるよう努める。					